

大学教育推進プログラム:『体験をスキルに変えるナラティブ能力育成』

体験学習を通して自己成長の物語を紡ぎ出す「ナラティブ能力」を養い、地域社会や職場などの活動現場と自分自身が抱える問題の双方を解決に導くことができる人材の育成を目的として、①現場体験に際して自ら行動し知識や情報を仕入れ、②その体験を反省的に捉え返して整理・定着を図り、③多様な表現方法を駆使して語り、書き、伝達可能な成果を生む、という三つの段階的な教育により、サービスラーニングやインターンシップなどの実践的ノウハウを学内外で継承し、学生自らが就職や編入、生涯学習における資質と選択のマッチングを図るための道具立てを行います。



<地域に学び、自分の物語を探し、創り、発信する>

- ◆サービスラーニング(地域活動体験)
- ◆インターンシップ(職場体験)
- ◆海外語学研修(異文化体験)など

Step.1 ネット作り
知識・情報の蓄積

- ◆グループワークで自己・他者理解
- ◆自分史の作成(人生の物語)
- ◆発表会に向けプレゼン準備 など

Step.2 ネットのみ
体験の捉え返し

ナラティブ能力育成
3つのステップ

Step.3 ネットのみ
成果のアウトプット

- ◆サービスラーニング・インターンシップ発表会
- ◆新聞発行、HPで記事・動画配信
- ◆『芸短・地域フォーラム』開催 など

<物語る力で切り拓く自己の成長>

